

「基礎・臨床を両輪とした医学教育改革 によるグローバルな医師養成」事業の 実績・効果等(H25年度)

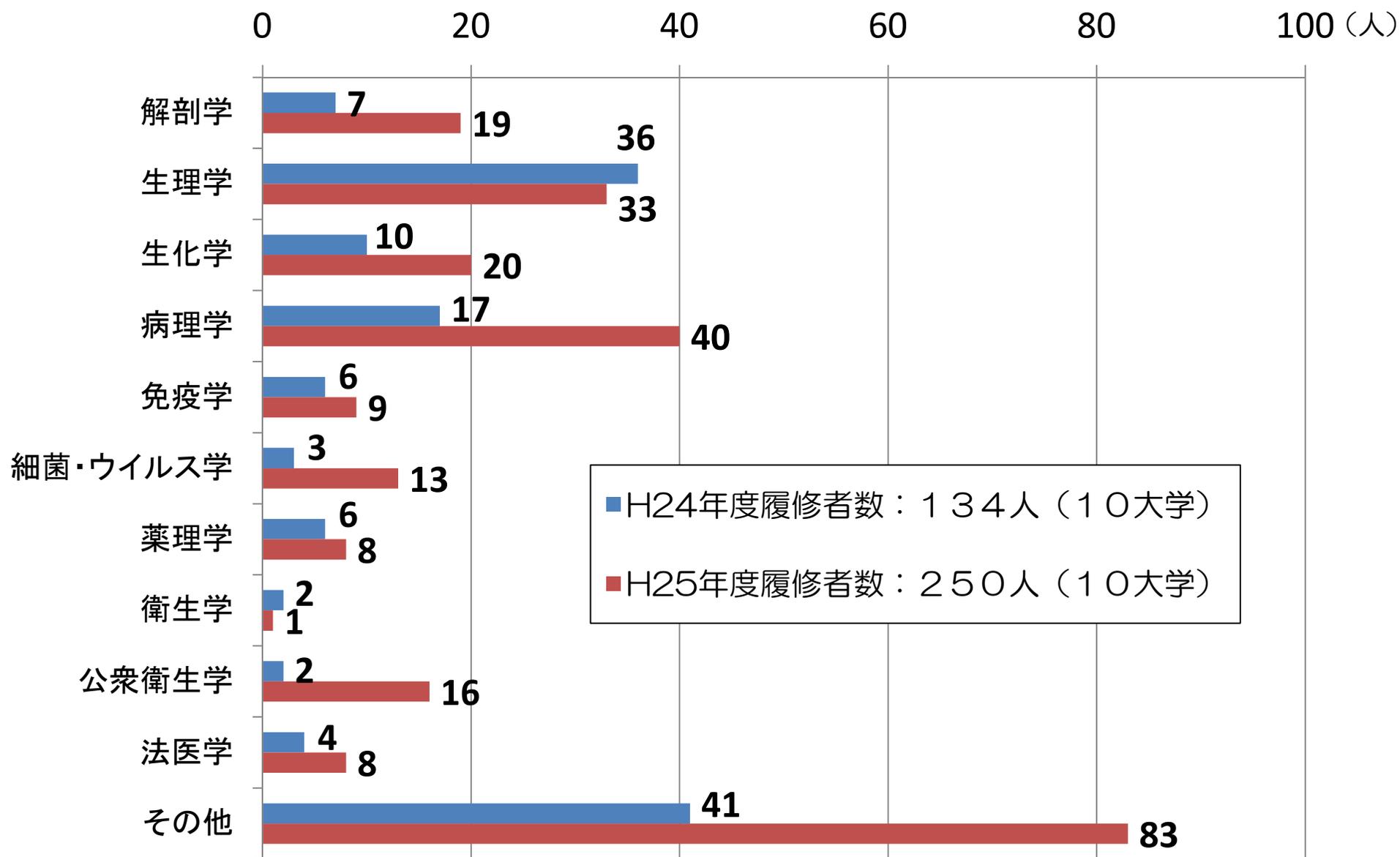
事業名

- (A) 医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成
- (B) グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実
- (C) 医学・歯学教育認証制度等の実施

「(A)医学・医療の高度化の基盤
を担う基礎研究医の養成」
事業の実績・効果等
(H25年度)

「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」 分野別受入れ人数

文部科学省医学教育課調べ（H26.2.1現在）



「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」コース別受入れ人数

文部科学省医学教育課調べ（H26.2.1現在）

No	大学名	プログラム名	コース名称	H25年度履修者人数		
				学部	大学院	合計
1	東北大学	世界で競い合うMD研究者育成プログラム	研究成果展開コース	24	-	24
2	群馬大学	卒前・卒後一貫MD-PhDコース	卒前・卒後一貫MD-PhDコース	31	2	33
3	東京医科歯科大学	シームレスな次世代研究者養成プログラム	研究実践プログラム	25	-	25
			研究者養成コース	7	1	8
4	山梨大学	リエゾンアカデミー研究医養成プログラム	リエゾンアカデミー研究医養成コース	16	-	16
5	滋賀医科大学	産学協働支援による学生主体の研究医養成	研究医養成コース（公衆衛生学コース）	2	-	2
			研究医養成コース（法医学コース）	1	-	1
			研究医養成コース（病理学コース）	2	-	2
			研究医養成コース（分子医科学コース）	4	-	4
6	神戸大学	基礎・臨床融合による基礎医学研究医の養成	基礎医学研究医育成コース	14	-	14
7	愛媛大学	医学科大学院からの基礎研究医養成コース	医学科大学院制度からの富士山型基礎研究医養成コース	41	4	45
8	熊本大学	柴三郎プログラム：熊本発 基礎研究医養成	柴三郎コース	-	2	2
			プレ柴三郎コース	12	-	12
9	札幌医科大学	死後画像診断力のある死因究明医養成プラン	死因究明医専修プログラム	4	1	5
10	順天堂大学	基礎研究医養成のための順天堂型教育改革	基礎医学研究者養成コース（Aコース）	1	-	1
			基礎・臨床統合型研究者養成コース（Bコース）	56	-	56
計				240	10	250

「医学・医療の高度化の基盤を担う基礎研究医の養成」事業の効果等の例(平成25年度)

※事業推進責任者等へのアンケート調査(H26.2)より(8大学から回答)

事業の実施前後で最も大きく変わった点

- ・学生の国内外の学会発表・論文発表等が大幅に増加。(東北、群馬、愛媛)
- ・学生の短期留学への支援が可能になった。(山梨)
- ・1年生で放課後や休日に研究を実践する学生が現れた。(熊本)
- ・入学前に本事業を知り、医学研究者を目指して入学する学生も現れた。(順天堂)

その他の留意点、ポイント等

- ・大学を超えた医学生等の交流会は、学生の刺激になった。(東北、熊本)
- ・研究に興味を持つ医学生が想像以上に多かった。(山梨)
- ・参加者を広く募って裾野を広げるとともに、本格的に研究者を目指す学生には重点的に支援するのが良い。(順天堂)
- ・プログラムに参加して学業成績が上がった学生がいる。(順天堂)

最も大変だった点、その際に工夫した点

【学生確保のための方策】

- ・学生発掘のため、新たに学士編入生に対する説明会を実施。(滋賀医科)
- ・多くの学生が参加できるよう長期休暇や土曜日に集中講義等を実施。(順天堂)

【プログラム運営上の工夫】

- ・学生の研究費を支援するため、法人の自主財源を充当。(愛媛)
- ・タイトな学部カリキュラムの下、ランチタイムの活用により運営しやすくなった。(滋賀医科)
- ・演習ではe-learningと学生の個別面接を適宜併用した。(札幌医科)

【大学院・初期研修の同時並行への対応】

- ・大学院1～2年次の授業料相当の奨学金は、学部長裁量経費を財源にした。(群馬)
- ・大学院の勉学と初期研修の進捗の管理が大変であったが、指導医と定期的に密に意見交換を行った。(熊本)

「(B)グローバルな医学教育認証に対応
した診療参加型臨床実習の充実」
事業の効果等
(H25年度)

(B)グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実(選定結果)

No.	大学名	区分	プログラム名称
1	筑波大学	国立	高い実践力を育む大学ー地域循環型臨床実習
2	信州大学	国立	150通りの選択肢からなる参加型臨床実習
3	京都大学	国立	国際交流を拡充したタスク基盤型の臨床実習
4	岡山大学	国立	脱ガラパゴス！ー医学教育リノベーションー
5	琉球大学	国立	グローバル&ローカル対応琉大ポリクリ方式
6	札幌医科大学	公立	地域拠点と連携によるICT連動型臨床実習
7	京都府立医科大学	公立	診療参加型臨床実習の質保証システムの確立
8	自治医科大学	私立	国際的な地域医療教育の構築
9	東京慈恵会医科大学	私立	参加型臨床実習のための系統的教育の構築
10	東京女子医科大学	私立	国際基準評価で質保証される実践臨床実習

「グローバルな医学教育認証に対応した診療参加型臨床実習の充実」事業の 効果等の例(H25年度)

※事業推進責任者等へのアンケート調査(H26.2)より(7大学から回答)

事業の実施前後で最も大きく変わった点

【教育内容の充実】

- ・本年度から3年次後期において臨床系と基礎系授業を並列で実施。(信州)
- ・特にアウトカム基盤型教育とその評価についての議論が深まった。(京都府立医科)
- ・院外BSLや診断学実習が拡充。(自治医科)
- ・学生と教員の情報共有のためにiPadを活用。(自治医科)
- ・医療面接、カルテ記載、患者プライバシー保護の授業時間を増やしたことにより、学生の電子カルテ使用が可能となる。(信州)
- ・試験的にAdvanced OSCEを導入するとともに、臨床実習期間をさらに拡大することができた。(琉球)

【卒前・卒後の連携】

- ・全診療科(28科)のログブック案を作成できた。(東京慈恵会医科)
- ・卒前卒後教育の連動が図られた。(岡山)

最も大変だった点、その際に工夫した点

- ・教養科目・基礎科目を1年生から6年生まで学年縦断的に教育するプログラムとなるよう工夫。(京都府立医科)
- ・屋根瓦方式の臨床実習の質向上のため、研修医対象のFDを実施。(東京慈恵会医科)
- ・学外協力病院との連絡協議会を定期的に行い、意識の統一、臨床実習の標準化を図った。(琉球)
- ・地域病院との情報交換が十分でなかったため、実習の実際が学生の希望と少し異なっていた。そのため、責任医師(教員)を配置し連絡を密にする等、改善策を検討中。(札幌医科)

その他の留意点、ポイント等

- ・診療科間の温度差をいかになくすかが最大のポイント。(岡山)
- ・カリキュラム変更やシステム導入を事業として進められるため、全学的に理解を求めやすい。(自治医科)
- ・臨床講義数の約3割削減等に対する教員への説明と理解を得ることがポイント。説明は様々な場で繰り返し行った。(東京慈恵会医科)
- ・実習が地域病院へ丸投げにならないよう。連携病院とのテレビカンファレンスを企画中。(札幌医科)

「(C)医学・歯学教育認証制度等の実施」
事業の実績等
(H25年度)

大学改革推進等補助金「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業

事業の目的

日本の医学部・歯学部が国際標準の教育を実施していることを証明するとともに、国際標準を超えるグローバルかつ優れた医師・歯科医師を養成するため、日本における国際標準の医学・歯学教育認証制度等の基盤を構築することを目的として実施（H24～28予定）。

選定大学

分野	大学名	連携大学	プログラム名称
医学	東京医科 歯科大学	千葉大学 東京大学 新潟大学 東京慈恵会医科大学 東京女子医科大学	国際基準に対応した医学教育認証 制度の確立
歯学	東京医科 歯科大学	新潟大学 九州歯科大学 東京歯科大学 大阪歯科大学	歯学教育認証制度等の実施に関する 調査研究

大学改革推進等補助金「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業【医学】

これまでの主な取組状況

○H24.10.29～11.2

東京女子医科大学グローバルスタンダードによる国際外部評価

○H25.5.17

全国医学部長病院長会議で日本医学教育認証評価評議会(JACME: Japan Accreditation Council for Medical Education)承認

○H25.7.30

世界医学教育連盟(WFME)グローバルスタンダード準拠
医学教育分野別評価基準日本版【正式版】公表 (日本医学教育学会)

○H25.12～

連携校によるトライアル評価を実施(新潟大学、東京医科歯科大学)

今後の主な取組

○WFME等の基準に合致する国際的認証機関への対応

FAIMER(Foundation for Advancement of International Medical Education and Research)、WFME(World Federation for Medical Education)等の海外関連団体との調整

○2023 (H35)年のECFMG新制度への対応

H26年度～ 2023年までを目標に評価を実施

大学改革推進等補助金「医学・歯学教育認証制度等の実施」事業【歯学】

24年度の主な取組状況

- 歯学教育認証評価検討WG、幹事会 開催
- 諸外国での認証基準と認証評価の調査
- 評価項目検討のためのWS開催(12月)
- 公開シンポジウムの開催(3月)

25年度の主な取組状況

- 諸外国での認証基準と認証評価の視察・調査
- 事業に関するホームページの開設
- 評価基準トライアル版(案)の作成(2月)
- 評価(トライアル)実施大学における自己点検評価の開始
(九州歯科大学、大阪歯科大学)
- 公開シンポジウムの開催(2月)
- 評価実施要綱(案)の検討